※令和４年度以降入学生用

学校番号	328

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　文学国語」（筑摩書房）						
副教材等	「新常用漢字必携　パーフェクトクリア　改訂版」（尚文出版）、「リテラ速読レッスン文学 Vol.２」（文英堂出版）、「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代や歴史的背景を持つ文学作品に触れ、文学の世界に親しみましょう。
・文学史的事項で作者について知り、時代背景を確認して文学作品への理解をより深めましょう。
・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み、共通点や相違点から作品や文化への理解を深めましょう。
・予習と復習を欠かさないでください。本文を読み、分からない語句を調べることは予習の基本です。復習は授業を思い起こして本文を読み直し、他者に教えるつもりで説明できるようになりましょう。
・提出物は期限厳守。定期考査は学習計画を立てて勉強してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）障害にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方・感じ方・考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。言葉による見方

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。言葉を通して積極的手に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	豊かな認識へと導くことばに触れる。 ［教材］ 「プラスチック膜を破って」	a:「プラスチック膜を破って」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「プラスチック膜を破って」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	小説から情景や心情を読み取り、題材に応じて情報を収集、整理して、表現する。 ［教材］ 「神様」	a:「神様」を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:「神様」を参考に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	身近な題材を取り上げ、問題を発見する。 ［教材］ 「メディアと倫理」	a:「メディアと倫理」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「メディアと倫理」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	柔軟に思考するために新鮮な着眼点を探る。 ［教材］ 「文学の仕事」	a:「文学の仕事」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:「文学の仕事」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、ここで挙げられた作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	現実と非現実とをつなぐ小説の深みを理解する。 ［教材］ 「捨てない女」	a:「捨てない女」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。 b[読]:「捨てない女」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	創作を生み出す想像力に触れる。	a: 「小説とは何か」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「小説とは何か」	感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「小説とは何か」の筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。		ノート	
	小説から情景や心情を読み取る。 ［教材］ 「山月記」	a:「山月記」を通して、 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:「山月記」を参考に、変身を題材にした物語を創作し、読み手の関心が得られるような文章の構成や展開を工夫している。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	異質な価値観のぶつかり合いを読み解く。 ［教材］ 「鞄」	a:「鞄」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「鞄」と他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	選び抜かれたことばの、洗練されたリズムを味わう。 ［教材］ 「永訣の朝」	a:「永訣の朝」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。 b[書]:永訣の朝」を参考に、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	「自己」を追い求める近代の特色について考える。 ［教材］ 「こころ」	a:「こころ」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:「こころ」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ~~話すこと／聞くこと　…　（　　）時間~~
- 書くこと　…　（　１５　）時間
- 読むこと　…　（　６０　）時間